

平成 29 年 3 月

城南学園幼稚園
園長 太田友子

平成 28 年度 教育評価の結果について

昨年 12 月実施の『教育アンケート』の結果をもとに、下記のとおり、学校関係者評価委員会を 3 月 6 日に開催しました。

については、教育評価の結果を別添のとおり、ご報告いたします。

記

城南学園幼稚園 学校関係者評価委員会

日時：平成 29 年 3 月 6 日（月）午前 10 時から

会場：城南学園幼稚園 園長室

内容

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成 20 年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成 26 年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（平成 29 年度 敬称略）

- ・山崎 高哉（大阪総合保育大学 学長）
- ・西川 仁志（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・山北 浩之（城南学園小学校 校長）
- ・西村 晴雄（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）・加藤慎他（事務局長）・伊藤和美（主任）・中田歩（副主任）

記録

城南学園幼稚園 学校関係者評価委員会 平成 29 年 3 月 6 日 (月)

会場 城南学園幼稚園 園長室 午前 10 時から 11 時

- 1、委員委嘱と紹介 (太田)
- 2、学校関係者評価委員会の設置について(太田)
- 3、今年度の学校評価について

(1) 資料説明 (太田)

<幼稚園の経営等について>

- ・「見える幼稚園」三年目、子どもの育ちが見えることから保護者の安心、地域へも広がる。
- ・質の高い幼児教育、他の校種との連携を強化するために、振り返る力、年長組の教育活動として「水泳教室」を取り入れた。
- ・子育て支援として、駒川商店街「コマクル」(年間やNOWを実際に掲示し、説明)
- ・8年目のベテラン教師が3名退職。中間層が抜けて、教育力の保持が課題となる。

<学校教育アンケートについて>

- ・アンケート結果について
- ・評価を3段階から5段階にし、肯定的意見と課題が明確になるように改善した。
- ・良好な状態の項目について (☆印)

15番 教員は、創意工夫ある保育を行っている。

16番 教員は、子ども一人ひとりをよく観察して理解している。

17番 教員は、子ども一人ひとりに応じたきめ細やかな保育を行っている。

18番 教員は、集団や異年齢とのかかわりを活かした保育を行っている。

教員の教育力などを保護者は感じている。子どもを見てわかる。

それに伴い、3大行事へのアンケート結果の評価が高かった。(4番、3番、19番)

子育て支援として、園長室だより、クラスだよりは良好。早朝保育や預かり保育は73%となっている。園として、短縮保育を減らし、通常保育を増やした。

- ・課題となる項目について (⇒)

バス送迎:2台で3往復している(6ルート)半数以上の保護者が利用をしている。

総合的な視点に立って、ルート改善、バスの増大などの模索をする必要がある。

(2) 協議

質問事項

Q. 全員へアンケートを配布しているのか?

A. アンケートについてのご意見に対して担任から返事が必要な場合もあるので、記名式にしている。154名中154名の回収であった。

Q. 課外クラブへの課題内容について?

A. 希望どおりに入会できない、バスの乗車時刻に間に合わないなどの課題がある。

- ・ 教員へ対する評価が高いことが素晴らしい。

Q. 教育アンケートの結果を教員で共有することが大切だが?

A. 学校協議会前に、教職員で成果と課題について共有をしている。

(太田) 教員への評価が全体的には高い中でも、教育力の個人差があるという意見もあった。あるクラスでは低い部分がある。このような結果を教員自身が自ら気づき、今後の指導の改善につなぐことが教育アンケートの本来の目的であると考

えている。教員からも「このアンケートを継続してほしい」との声がある。

Q. 園内外研修を充実してきているようだが？

A. 一人あたり年間で数回外部の研修に参加し、その後園内で報告する場を設けている。また園内研究として、3つの力についてもグループごとに計画・実施・考察をしている。教員からも「研修・研究が充実してきて、互いの特技を生かしたい学びあいができるようになれば」という声がある。

・ 基礎的な力量を身に付けるために新任教員対象の園内研修も充実させてほしい。
(太田)職場の中で育ち合う環境が一番大事であると考え、平素から言うべきことを言い合える教職員関係を築くことを心がけている。

・ 教員が力をつけてこられているのは、園長自身が修士課程で論文として「振り返り」の実践を書かれた。教員と一緒に協同研究をしており、教員も研究という視点で子どもと多くかかわってきた。この点では、職員が「自分自身も振り返るようになる」ので今後も続けていってほしい。一緒に作り上げていくという姿勢を持ち続けてほしい。

・ 来年度の新入園児数が倍になったことに驚いた。親の働き方の変化で、幼稚園より保育所へシフトされる中、すごいと感じた。昨年度の、この協議会でお話されていたように、「幼稚園を実際に見てもらおう」ための努力が実を結んだ。先生方が一生懸命に子どもや保護者とかかわり、その上、城南学園は施設面でもグラウンドや体育館など整っていることがすばらしい。実際に足を運んでいただいて保護者の方が見てもらおうことで、「ここだ」と決めてもらえることを考えると、どんどん未就園児対象の行事を取り入れていってほしい。

・ Facebook も毎日更新され、活用されていることはすばらしい。

・ アンケートと実際の保護者の声にどの程度整合性があるかについて、事前に何人かの保護者に尋ねみた。このアンケートと同様で相違はなかったのがよかった。日々、教職員が保護者と関係を密にとっていることで、アンケートにありのままの結果が出ていたと感じた。今後も職員のモチベーションをいかに維持し、子どもとかかわっていくのか。職員の子どもたちへ向かう姿勢が問われてくるのだろうと感じた。

・ 評価シートの記入

(太田)「見える幼稚園」「共に育てる：共育」などのキーワードが保護者にも浸透してきている。総合学園のよさを活かして、子どもと共に教職員・保護者も育ち合える幼稚園をめざしていく。

教育アンケートの結果について

平成 29 年3月 6 日

本年度の教育アンケートでは、5段階評価を導入したことにより、「ふつう」を境に、良好な状態と改善を要する状態を明確にすることができた。

「良好な状態」の項目は、「教員は創意工夫のある保育を行っている(15)」「教員は子ども一人ひとりをよく観察して理解している(16)」「教員は子ども一人ひとりに応じたきめ細かな保育を行っている(17)」「教員は集団や異年齢との関わりを生かした保育を行っている(18)」で、いずれも本園の教育力に対する高い評価であると考えられる。その結果、子どもの姿から教育力が見える、とりわけ「園行事(内容、回数)に満足している。例」運動会、作品展、生活発表会(4)」では、154 名中 140 名(91%)が満足しているという結果になっている。

その根底には、本園の教育方針である「3つ(からだ・こころ・ことば)の力を育てる教育活動に満足している。(3)」、「教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている(19)」が良好な状態にあることも大きく関係していると考えられる。

一方、子育て支援として、「園長室だより、クラスだよりが役立っている(21)」が良好な状態にあるが、「早朝・預かり保育に満足している(7)」が 73%と伸びている反面、「早朝保育をあと 15 分早く 7 時 30 分からにしてもらえると職場に間に合う」など、仕事をもつ保護者にとっては更なる充実・改善を求める声も届いている。また、「午前保育や弁当の減少を図り(20)」についても、充実・改善を要望する声があり、幼稚園に通わせたいけれども、仕事との両立に困難さを感じている保護者の状況が見えてくる。

その中で一番の課題は、「バス送迎(ルート・方法)(9)」である。「分からない」と回答した保護者を除いて、その他の保護者の 15%は満足していないことが分かった。「バスの停留所を増やしてほしい。」「バスルートが違うので入園を諦めた方がおられる。」「バス到着の時刻のため遅組の教育時間が他の組より短い。」とのお声もあり、バス運営の課題は浮き彫りにされている。総合的な視点から検討を加え、運営方法について模索していく。

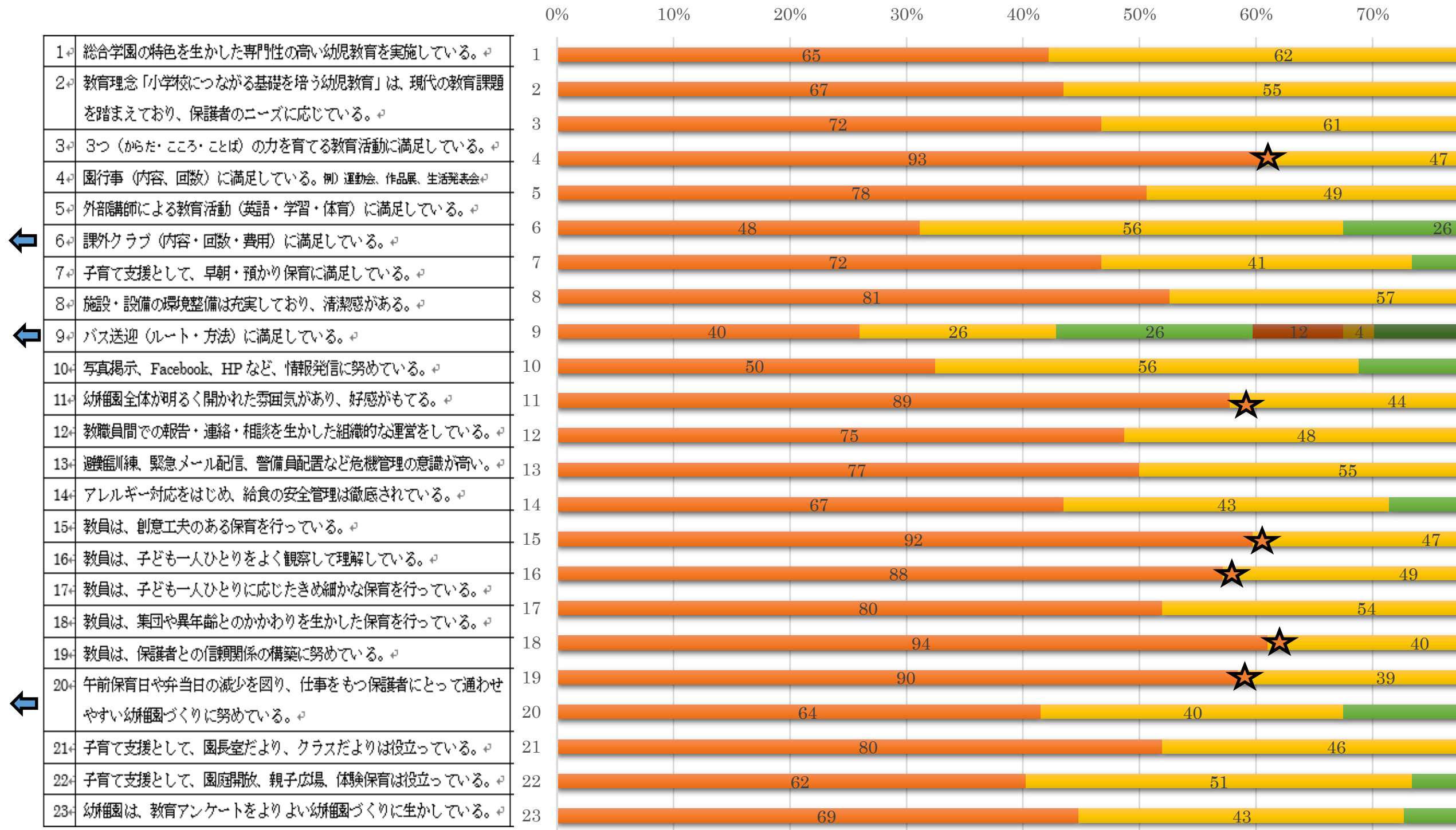
以下、教育アンケートでいただいた意見等を踏まえて考察することにする。

- ⇒ 「今年娘の入園にむけて、幼稚園の行事(親子広場、園庭開放、招待保育、体験保育)に参加できて、年中児の息子の時よりもどんな幼稚園かがすぐわかってよかったと思います。来年も、見える幼稚園という感じでたくさん園庭開放などを行ってください。」「今年に入り、数人の未就園児をもつ親御さんに園のことを聞かれました。以前よりも幼稚園に興味を持たれている方が増えたように思います。これまでの数年の取組みが実を結んでいることを実感しています。」など、「見える幼稚園」に対する保護者の理解が深まってきており、未就園児対象の行事等の充実・改善効果がようやく始めてきたことが分かる。(22)
- ⇒ 「明確な教育理念のもと、一人ひとりに細かな指導をしてくれている(行儀やことばづかいなど)。「教育の総合学園なので交流がさかんで、小学校への進学へとても協力的でよい。」のように、本園教育の特色をよく理解されている声が増えてきている。本園の特色づくりの方向性がようやく見えてきつつある。(1)(2)
- ⇒ 「先生がクラスの子どもだけでなく園全体の園児のことをよく見て声をかけてくれている。」という声が多く、「チーム」で園児全体を育てていくという方針を教職員が意識して日々の指導にあたっており、そのことが保護者の安心、感謝、信頼につながっていると受け止められる。(12)(18)
- ⇒ 「子育てを通じて親も子も一緒に『共育』していかなければならないということを強く感じさせていただきました。」「園長先生のお言葉にとっても励まされ子育ての参考になっています。いつも心に響くお話をしてくださり感謝しています。」のように、子育てに対する不安感や孤立感、閉塞感を抱く保護者の姿が現実のものとしてあることが分かる。子育て支援の充実・改善は大きな課題となっていると認識を新たにしている。(21)
- ⇒ 「モチベーションの高い幼稚園だと感じています。園をよりよくしようと改善を重ねる意欲、先生方の指導の意欲、そしてそれに応えようと意欲的がんばる子どもたち。すべてが相乗されて活気のある幼稚園になっているように感じます。」というような声が多く届く一方、「アンケートは無記名がよい。」という声があるのも否めない。不安や疑問を抱かれときに素早く察知し、対応する教職員の意識(気づき)が最も重要であり、そのままにすることが不満や不信へとつながる。トラブルが生じた後の対応が重要であることから、今後も教職員とともに、確認・実行・報告を徹底していく。(23)
- ⇒ 学習遊びや英語遊び、体育遊び、課外クラブについては、成果と同時に、充実・改善を要望する声もあり、総合的な視点から検討を加えて模索していく。(6)
- ⇒ 教員の指導力に対する評価が高い一方、経験年数や指導力の個人差に対する厳しい声もある。園内教員研修をより一層充実させ、若手もベテランもともに育つ研修体制を見直す。(16・17)

教育アンケート等の外部評価を受けて、平成 29 年度、本園の経営方針「見える幼稚園」のもと、子どもと教職員、そして保護者も共に育ち合えるような幼稚園づくりに努めてまいります。

平成 28 年度 教育アンケート

城南学園幼稚園



対象：154人/154人

実施日：平成28年12月

とても思う ⇒

ふつう ⇒

5

4

3

	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
5	69	62	80	64	90	94	80	88	92	67	77	75	89	50	40	81	72	4
4	43	51	46	40	39	40	54	49	47	43	55	48	44	56	26	57	41	5
3	25	23	22	33	20	14	14	13	14	23	20	24	15	39	26	12	27	2

	評価内容	<記入の仕方> 該当番号を○で囲む 強く思う ←ふつう→ 全く思わない 分からない 5・4・3・2・1 ?	
1	総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を実施している。	2・8・1・0・0	?
2	教育理念「小学校につながる基礎を培う幼児教育」は、現代の教育課題を踏まえており、保護者のニーズに応じている。	6・4・0・0・0	?
3	3つ（からだ・こころ・ことば）の力を育てる教育活動に満足している。	3・7・1・0・0	?
4	園行事（内容、回数）に満足している。例）運動会、作品展、生活発表会	6・5・0・0・0	?
5	外部講師による教育活動（英語・学習・体育）に満足している。	5・5・1・0・0	?
6	課外クラブ（内容・回数・費用）に満足している。	4・4・3・0・0	?
7	子育て支援として、早朝・預かり保育に満足している。	4・5・2・0・0	?
8	施設・設備の環境整備は充実しており、清潔感がある。	5・5・1・0・0	?
9	バス送迎（ルート・方法）に満足している。	1・2・8・0・0	?
10	写真掲示、Facebook、HP など、情報発信に努めている。	1・9・1・0・0	?
11	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。	4・7・0・0・0	?
12	教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営をしている。	1・8・1・1・0	?
13	避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理の意識が高い。	0・7・3・1・0	?
14	アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理は徹底されている。	4・4・3・0・0	?
15	教員は、創意工夫のある保育を行っている。	0・9・2・0・0	?
16	教員は、子ども一人ひとりをよく観察して理解している。	1・7・3・0・0	?
17	教員は、子ども一人ひとりに応じたきめ細かな保育を行っている。	0・7・4・0・0	?
18	教員は、集団や異年齢とのかかわりを生かした保育を行っている。	1・8・2・0・0	?
19	教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている。	2・9・0・0・0	?
20	午前保育日や弁当日の減少を図り、仕事をもつ保護者にとって通わせやすい幼稚園づくりに努めている。	5・6・0・0・0	?
21	子育て支援として、園長室だより、クラスだよりは役立っている。	6・4・0・0・0	1
22	子育て支援として、園庭開放、親子広場、体験保育は役立っている。	5・4・2・0・0	?
23	幼稚園は、教育アンケートをよりよい幼稚園づくりに生かしている。	8・3・0・0・0	?

- ・基本的な報告・相談・連絡を見直し、子どもたちのことを責任もって育てられる教職員へと成長したいです。
- ・今年度大きく改革をした年となったので、ここからチーム力が問われると思うので努力したいです。
- ・園内研修や外部研修など、教員が互いの学びを共有し合う場が増えたことがよい。それぞれの特技を活かす場や環境づくりをしていきたい。
- ・緊急時のマニュアル・対応(役割分担)の整備が必要と感じる。
- ・様々な『見える』を意識して取り組んでいきたい。
- ・園庭開放や親子広場は幼稚園の様子が見える機会となるのでよいと思う。
- ・縦割りだけでなく、横のつながりももっと増えるとよいのかと思う。特に年少。
- ・私自身、15から19について特に気になる場所であった。第三者からの目でみて評価してもらおうと、自分を改めて見直す機会にもなるので、アンケートは続けてほしいです。
- ・「共育」を目標に、保護者の不満や不評、不信を素早く察知でき対応できる幼稚園をめざしたいです。

協議員用集計

平成 29 年 3 月 6 日

平成 28 年度 教育アンケート

城南学園幼稚園

	評 価 内 容	<記入の仕方> 該当番号を○で囲む	
		強く思う ←ふつう→ 全く思わない 分からない	
		5・4・3・2・1	?
1	総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を実施している。	5・0・0・0・0	0
2	教育理念「小学校につながる基礎を培う幼児教育」は、現代の教育課題を踏まえており、保護者のニーズに応じている。	4・1・0・0・0	0
3	3つ（からだ・こころ・ことば）の力を育てる教育活動に満足している。	4・1・0・0・0	0
4	園行事（内容、回数）に満足している。例）運動会、作品展、生活発表会	5・0・0・0・0	0
5	外部講師による教育活動（英語・学習・体育）に満足している。	1・2・0・0・0	2
6	課外クラブ（内容・回数・費用）に満足している。	1・2・0・0・0	2
7	子育て支援として、早朝・預かり保育に満足している。	0・3・0・0・0	2
8	施設・設備の環境整備は充実しており、清潔感がある。	3・0・0・0・0	2
9	バス送迎（ルート・方法）に満足している。	0・0・0・1・0	4
10	写真掲示、Facebook、HP など、情報発信に努めている。	5・0・0・0・0	0
11	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。	4・1・0・0・0	0
12	教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営をしている。	3・1・1・0・0	0
13	避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理の意識が高い。	1・3・0・0・0	1
14	アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理は徹底されている。	1・0・0・0・0	4
15	教員は、創意工夫のある保育を行っている。	3・2・0・0・0	0
16	教員は、子ども一人ひとりをよく観察して理解している。	4・1・0・0・0	0
17	教員は、子ども一人ひとりに応じたきめ細かな保育を行っている。	3・2・0・0・0	0
18	教員は、集団や異年齢とのかかわりを生かした保育を行っている。	4・0・0・0・0	1
19	教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている。	5・0・0・0・0	0
20	午前保育日や弁当日の減少を図り、仕事をもつ保護者にとって通わせやすい幼稚園づくりに努めている。	2・3・0・0・0	0
21	子育て支援として、園長室だより、クラスだよりは役立っている。	3・2・0・0・0	0
22	子育て支援として、園庭開放、親子広場、体験保育は役立っている。	3・1・1・0・0	0
23	幼稚園は、教育アンケートをよりよい幼稚園づくりに生かしている。	5・0・0・0・0	0

- ・幼・小連携・接続に力を入れ、効果を上げている。
- ・今後も地域に見える、地域から信頼・応援される幼稚園としてがんばっていただきたい。
- ・園長と教職員との緊密な関係を今後も継続していただきたい。
- ・総合学園であるのでグラウンドや体育館などのハード面と、先生方の笑顔のある温かい対応などのソフト面の両方が揃っているのでよい。
- ・教職員の向上にむけて、学園全体としての連携をさらに強めていくよう互いに工夫をしていきましょう。
- ・園庭から子どもたちの楽しそうな声がいつも聞こえてくるのがよい。
- ・先生方のモチベーションの向上にむけてさらなる取組みを楽しみにしております。
- ・今後も、現在の教育方針どおりで進めていただきたい。